

北海道教区報

第548号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

桜咲き、健康感謝、親子ほのぼの春の一日



函館支部

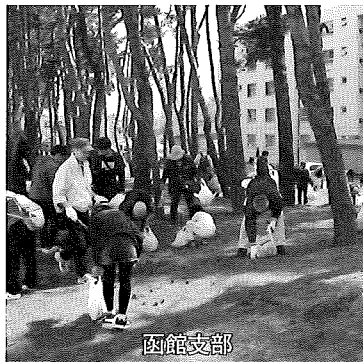
4月29日全教一斉ひのきしんデー、道内会場は、概ね好天に恵まれ、気温も高く、函館など、道南では桜も満開、道央圏もちらほら咲き始める中、親子での参加者も多くみられました。



空知支部

・函館支部 4月29日晴天の御守護を頂き、花見等の人々が行き交う中五稜郭公園を会場に全教一斉ひのきしんを実施し28名の教友が参集しました。式典では最初に表統領先生のご挨拶が代読され『その地域の人々が一手一つにひのきしんにいそむ所に意義がある』とのお言葉を胸に、周辺の清掃を勇んで勤めました。同時開催の献血には28名が受付、21名が400mlの採血を受けて頂きました(水島記)

・小樽支部 4月29日、例年通り「小樽公園」の清掃活動を行いました。また赤十字社からの要請もあり、昨年に引き続き「献血活動」を実施、400ml献血48名、200ml献血6名、計54名が献血を行った。今年は、学生会層などの若年層が多く参加し、献血を通して「おたすけ」の喜びを実感したようだ。(中村記)



函館支部



空知支部

※総じてどの会場も大勢のひのきしん者で賑わった。また、苫小牧、函館、空知、札幌中南支部等からは多くの写真をお寄せ頂き有難うございました。



苫小牧支部



札幌中南支部



苫小牧支部

大募集!!

…お子様からご高齢の方まで…

大通り会場ひのきしん者

第27回「YOSAKOI」
ソーラン祭り

【基礎講座 北海道会場】
次回は7月7日(土)
教務支庁会場
※開催時刻は、13:30から

インフォメーションセンターでは、英語など片言しかできなくとも、おもてなしの心で接すれば大丈夫です。

日時：平成30年

6月9日(土)～10日(日)

一日でも、短時間でも、歓迎

内容：ゴミ拾いと、インフォメーションセンターでの案内

外国の方と応対しますが、英語などに堪能でなくとも、興味のある方で結構です。

集合場所(休憩所) ..

7丁目インフォメーションセンター横

お問い合わせ ..

《教育育成部よさこい担当》

庄田道則

(090-2077-1518)

立教181年度 支部布教部長会議報告 桜咲き誇る札幌の街へ 神名流しから

さる5月1日、教務支庁を会場に支部布教部長研修会を開催し、28名の参加を頂き、今年度の活動を推し進める上で意義ある会となった。

教務支庁からの神名流しに始まり、桜が咲き誇る札幌の街に「天理王命」の神名を流した。

その後帰庁し、研修会開講挨拶で美田伸一教区布教部長が「教えに添った通り方をお互いにさせて頂きたい。その中で布教部の動きは多岐にわたるが、それぞれの支部活動において布教部長自ら勇んでおつとめ頂きたい」と話した。その後、加地道喜教区代表社友が9月7日に開催される「天理時報普及推進大会」の説明と、時報普及活動や手配りについて一層の理解協力を求めた。

また、本年の活動計画では各担当者から全教一斉ひのきしんデー、全教一斉にをいがけデー、陽気ぐらし講座、成人講

・よつぽく家庭に、もれなく天理時報を
・手配りひのきしんで、教友の絆を強めよう

座等、昨年の実績を踏まえた上で、今年度の更なる活動を誓い合った。

「気づきを導く案内人」

報告会では、成人講座総合司会研修会を受講した3名から内容説明があり、「かがやきプログラム」活用の上での留意点や、総合司会者の心構えなどが伝えられた。特に総合司会者は、受講者の気づきを導く案内人であることや、常に受講者に喜んでもらうことを考える受講者本位かつ柔らかい心でユーモアを使うなど、実際の場面を想定し、会場からは質疑応答など活発な意見が出された。最後に講座の「ふりかえり」など重要点を確認し、講座に係わる講師、スタッフの事前準備や熱意が成否を決めることを再確認した。

翌日は朝食後、教区周辺のごみ拾いや、バス停清掃などひのきしんをさせて頂き、閉講式では中村則之教区布教部次長が「それぞれの心にお土産を頂いたと思うので、各支部活動に大いにお励み頂きたい」と挨拶し、閉会した。(和田記)

支部手配り責任者研修会

II 時報普及推進大会にむけてII

去る5月2日、文化広報部主催の「時報手配り責任者研修会」が、道友社業務課の松下先生をお招きし開催された。

天理時報購読の現状は、8年前から手配り活動を展開しているが、購読者の高齢化、若者の活字離れ、購読の継続がうまくいっていないなどで、15万部から、11万部へと減少していると

の事。それには様々な要因があるが、今後各よっぽく家庭で購読を進めてもらいたい」と、立教181年の布教部、道友社スロガンとして、

「ようぽく家庭に、もれなく天理時報を」

「手配りひのきしんで、教友の絆を強めよう」

と、打ち出している。

道内の手配り責任者のアンケートでは「教会長家族のみが、手配り活動を担っている」

「ひのきしん者の高齢化、その後のすそ野が広がっていない」という問題点と共に、「支部活動のチラシを入れたり、広報としては機能している」「手配りはお道の御用であると捉えて、やりがいをもって、勇んで、充実

感を得ています」等、手配りの効用を実感する意見も多かった。



その後、「1教会当たり3部の新規購読」という増部の話にも意見が出て。「教勢が足踏みする中、難しいことだが、教会、よっぽく、信者家庭が一手一つになれば、達成できない事はないと思います」という声も、。また支部の手配り担当者が「私は何年か前に大病を患いました。気づくと後遺症もなく非常に軽くして頂いている。これは、手配りで走り回っているおかげだと思った。」と。「おぢばからの手紙」を届けるといいう御用の深さを悟らせて頂く研修会になった。

青年会 上半期支部委員長会議

5月19日、「青年会上半期支部委員長会議」が開催された。

会議では各支部、ブロックで定期的に開催されている「YYプロジェクト」について支部委員長が互いに内容を精査。次の活動の充実につなげる意見交換がなされた。また、6月〜8月に定めている「YYプロジェクトうきうき期間」二人から始められる布教実習会、11月の合同行事「ワイワイフェス」本会が打ち出しているwebセミナーの体

験などを実施。夜は懇親会をして常時活動の内容充実の気運を高めた。(参加者30名)



「WEBセミナー」体験中

支部の動き

●空知支部

4月30日新十津川分教会を会場に空知支部よふほくおつとめ総会が開催されました。

本年は座りづとめを支部役員が、よろづよ八首を少年会、学生会、女子青年、青年会が、一下り目から四下り目までを、奈井江、砂川、芦別、赤平地区が、五下り目から八下り目までを、浦月、新十津川、滝川地区が、九下り目から十二下り目までを、美唄東、美唄西地区がそれぞれ担当しました。式典の部



では、新谷和延支部長が、ひのきしんとボランティアの違いについて、自身の災害隊主事時代の体験から学んだことをお話下さいました。その後、直会の部では、和太鼓部の現役、OBそれぞれの迫力ある演奏を披露してくれました。また恒例の、お供え物を景品としたビンゴ大会

も実施し、楽しく陽気な日となりました。参加者は、大人70名、少年会員21名でした。

●室蘭支部

本年の総会は、連休の5月3日10時より、会場を本輪西分教会で行いました。雅楽の奏樂が響く中を、祭儀式から始まり、おつとめを着用して、12下りをつとめた。みかくらうたを皆さ



んで唱和し、一手一つに勇んだおつとめが出来ました。参加者・大人85名、子供8名。

記念講演は宗谷支部長の五十嵐仁先生で、「教祖のひながたを心に：教えは海を越えて」と題して、アフリカ・ウガンダの布教を通して、教祖の教えの素晴らしさを語られました。特に、おさづけを取り次ぐと、たすけてほしい人が、列を作って並ぶ事。お札はなく、たすける力を持つているものが、貧しい人をたすけるのは当たり前との事。世界の広さと教祖の教えの深さを知る良いお話でした。

●函館支部

5月9日北開分教会を会場に函館支部管内教会長夫妻、前教会長夫妻、布教所長夫妻、支部役員、57名が参集し函館支部総会を開催した。晴天の御守護のもと、雅朋会の奏樂により、午前9時30分開式、祭儀式の後、3交替でおつとめを勇み心を寄せ一手一つにつとめた。

今回の総会は昨年より25次に亘って開催された「後継者講習会」も終わり、この教えを次の世代に、いかに受け継いでもらえるかを意識してつとめている中、今一度、支部活動のあり方を思案いたし管内の教会・布教

●白豊支部

支部文化広報部長・水島

4月29日の一斉ひのきしんデー終了後、羽幌分教会を会場にお楽しみ行事を開催しました。当日は、幼年・小学低学年・高学年とクラスを分けてのゲームを実施して、参加者一同盛り上がりました。

続いて、支部育成委員・鍋田が講話を行いました。その後、美味しいパフェ会を行い、ビンゴ大会を行って、楽しいひと時を全員で共有しました。

参加者24名(少年会員16名)



所・教信者が一手一つに心も新たに勇んで歩ませて頂きたい上から、遠く熊本の地より、阿羽部内 佐敷分教会長 山崎好晃先生をお招きし「あたりまえとは」と題した講話を拝聴、改めて日々のご守護のありがたさを実感した。なお、記念講演は一般の方にも是非聞いて頂きたいとお誘いしたところ、30名程の傍聴者にお越し頂き感激を持ってお帰り頂いた。続いて教区支部の諸連絡があり閉会。その後の直会は青年会・女子青年が進行をつとめ、クイズやゲーム等で大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごした。



新会長さん紹介

(平成30年3月26日お運び)
俱知安支部

蘭越分教会 (小南部)
奉告祭 6月3日



加藤道典氏 (56歳)

(平成30年4月18日お運び)
札幌中南支部

陽光分教会 (網走)
奉告祭 6月30日



桐谷善広氏 (37歳)

網走支部
網陽分教会 (網走)
奉告祭 6月3日



小松篤志氏 (49歳)

渡島支部
上磯分教会 (秦野)
奉告祭 10月14日



五十嵐祐隆氏 (52歳)

天竜支部

宮園分教会 (亀岡)
奉告祭 6月3日



唐田明美氏 (58歳)

(平成30年4月26日お運び)
北見支部

上猿間分教会 (小牧)
奉告祭 5月20日



吉田寿夫氏 (43歳)

雅楽講習会開催報告

天理教北海道雅楽会

北海道教区総務部 (高橋政嗣部長) は、5月3日〜4日の日程で、教務支庁を会場に雅楽講習会を開催した。

幅広い年齢層の演奏者育成を目指して、ここ数年続けて5月の連休中に開催。小中学生3名、高校生3名を含む合計23名が参加、初心者、初級、中級コースに分かれ、熱心に練習に励んだ。

課題曲は、初級が平調「越殿楽」「五常楽急」「陪臚」の三曲、中級は太食調「合歓塩」「長

慶子」輪鼓禪脱」の三曲。受講生は「久しぶりに管を持ったが、来て良かった。また続けようと思う」「全くの初心者だけど、受講できて嬉しかった」「不明な点を、事細かに丁寧に教えて頂き、とてもためになりました」「雅楽って良いなと思いましたが」などと話していた。

雅楽講習会受講生の内訳は、初心者、龍笛1名、鳳笙に1名、初級、龍笛2名、箏5名、鳳笙1名、中級、龍笛6名、箏5名、鳳笙2名 (合計23名)。

講師は、道内上級講師8名。男女を問わず幅広い年齢層の受講生が参加したこの雅楽講習会。初心者から経験者まで、様々なレベルの人が、雅楽の習得に励む貴重な機会になっていると思うので、今後も継続して行きたいと願っている。(古川記)



けいじばん

◎法律に関する諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会
毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式をおこなっております。

II 婦人会からのお知らせ II

◎第2回 NISSのさくら会

日時 平成30年6月2日(土)

13時30分開始

6月3日(日)

13時解散

会場 教務支庁

内容 盛りだくさん

◎第17回「ままっぶの集い」

日時 6月16日(土)午前10時

会場 教務支庁

支部婦人会を通して申し込みください。(参加費無料)

◎母親講座Eブロック

日時 8月19日(日)10時より

会場 北誉分教会

講師 中村多鶴子先生

(教区婦人会常任委員)

訂正 Dブロック

5月30日〜31日

訃報

・藤本好光様 4月12日出直 (75歳)

道仙分教会会長 (南空知支部)

・廣岡タカ様 4月26日出直 (90歳)

・様舞分教会前会長夫人 (十勝支部)

・葛西由美様 4月11日出直 (81歳)

本北分教会前会長 (渡島支部)

・熊谷キイ様 5月1日出直 (89歳)

浦河町分教会前会長夫人 (日高支部)

北海道教務支庁日誌抄

(4月20日〜5月19日)

4月21〜22日 学生会 まなびは

26日 本部月次祭遙拝式

28日 図書修理会

29日 全教一斉ひのきしんデー

5月 1日 たすけ推進会議

支部布教部長研修会

2日 支部長会議

決算会議

天理時報手配り

担当者研修会

3〜4日 雅楽講習会

16日 第195回基礎講座

教務支庁会場

講師 中村則之先生

受講者4名

(累計8千522名)

18日 教区報編集会議